

学校経営ビジョン（令和6年度・2024年度）

1 学校教育目標

明倫堂の精神に、「すべての職務にそれぞれ賢才（才能と知恵を兼ね備えた人）を得て政治を行えば国は治まる。ゆえに治道（政治のしかた）は賢才を（才能と知恵を兼ね備えた人）得るのが根本なのである。学校は人材を育てるところで、その人材がその部署に就けば風俗は改まって善に還り、扉を閉ざさなくても盗むものはなく、道に落ちたものを拾って着服するような者のいない理想国家が実現する。教育の目標はここにある。この学校に学ぶものはこの精神を忘れず、勤めて怠ることなかれ」とある。つまり、「国づくりの基本は人材育成であり、学校は、即ち人材を養成する地である」ことを受け継ぎ、これを本校の教育目標とする。

2 令和6年度経営方針等

ア 学校経営ビジョン

生徒が未来を切り拓き、よりよく生きていくために、生徒が明るく主体的に活躍できる場と、安心安全の学びの場を構築し、これからの時代を生き抜く人間力のある「誇り高き 高鍋プライド」を持ちあわせた生徒の育成に努め、保護者・地域から信頼される活力ある学校作りに邁進する。

イ 基本方針

□ めざす学校像

- 普通科（LAクラス・CIクラス）、生活文化科、探究科学科が切磋琢磨し、地域教育の拠点校として、地域に根ざした教育や地域を支える人財の育成に挑戦していく学校
- 第二世紀を迎え、生徒・職員が新たな校風や伝統の醸成に挑戦していく学校

□ めざす生徒像

- 真：自ら考える態度と学び方を身につけ、目標に挑戦し続ける生徒
- 善：強い意志と実践力を身につけ、社会のために貢献しようとする生徒
- 美：豊かな感性を身につけ、文化の創造・発展に寄与しようとする生徒

□ めざす教職員像

- 「明倫堂の教え」を大切にしながら日々の教育活動にあたる教職員
 - *「明倫堂の教え」…師範の面々、門人の教育疎かにすることなく、その性質に従い、有用の才、手厚く養育すべきこと
 - （先生は、生徒の教育に手抜きやいい加減で不適切な指導があってはならない。生徒の特性、素質に寄り添い優れた才能を引き出し、心を込め熱心に養い育てること。）
- 生徒を信じやる気にさせて自己肯定感を育むとともに、自ら学び続ける姿勢を示す教職員

3 令和6年度の重点目標と取組内容

(1) 確かな学力の涵養と進路実現

- ① ICT機器の活用など、適切なツールを選択し学力の定着や向上に取り組む生徒の育成。
- ② 生徒自身が学習姿勢を改善する契機となる授業や評価のあり方についての研究。
- ③ キャリア教育を計画的に推進し、進学や就職等、自分のライフプラン実現に向けた学力の養成や資格取得等に挑戦する生徒の育成。

(2) 豊かな心の醸成と基本的生活習慣の確立

- ① 自他の命と人権を尊重し、互いを認めあえる生徒の育成。
- ② 自然に心からの挨拶ができ、規則正しい生活習慣の確立に向き合う生徒の育成。
- ③ 師弟同行のもと、環境美化や環境整備を進んで行う生徒の育成。

(3) 自律的な自己の確立と文武両道の推進

- ① 生徒が自ら求めて、学問、部活動、諸活動に取り組めるための段階的環境整備。
- ② 目的達成に向け、生徒が適切な方策・手段を模索し実践する場としての文武両道の推進。
- ③ 生徒自身が自己有用感・自己肯定感を育める教育環境の整備。

(4) 地域に開かれた信頼され活力ある学校づくり

- ① 児湯学友団コンソーシアム（KGC）の活用による地域拠点校としての役割推進及び児湯5町との連携強化。
- ② 地域の小学校・中学校や外部機関との積極的な連携や広報活動の更なる充実。
- ③ PTA組織や同窓会組織との効果的かつ協働的な活動の推進。

(5) 教職員の資質向上

- ① 計画的な研修受講による各種指導力（教科指導力、生徒指導力等）や危機管理力の向上。
- ② 生徒を鍛え、育てることで、自走する生徒が育つ「高鍋メソッド」の確立。
- ③ 同僚性・協働性・OJTの推進による教職員のチーム力の向上。